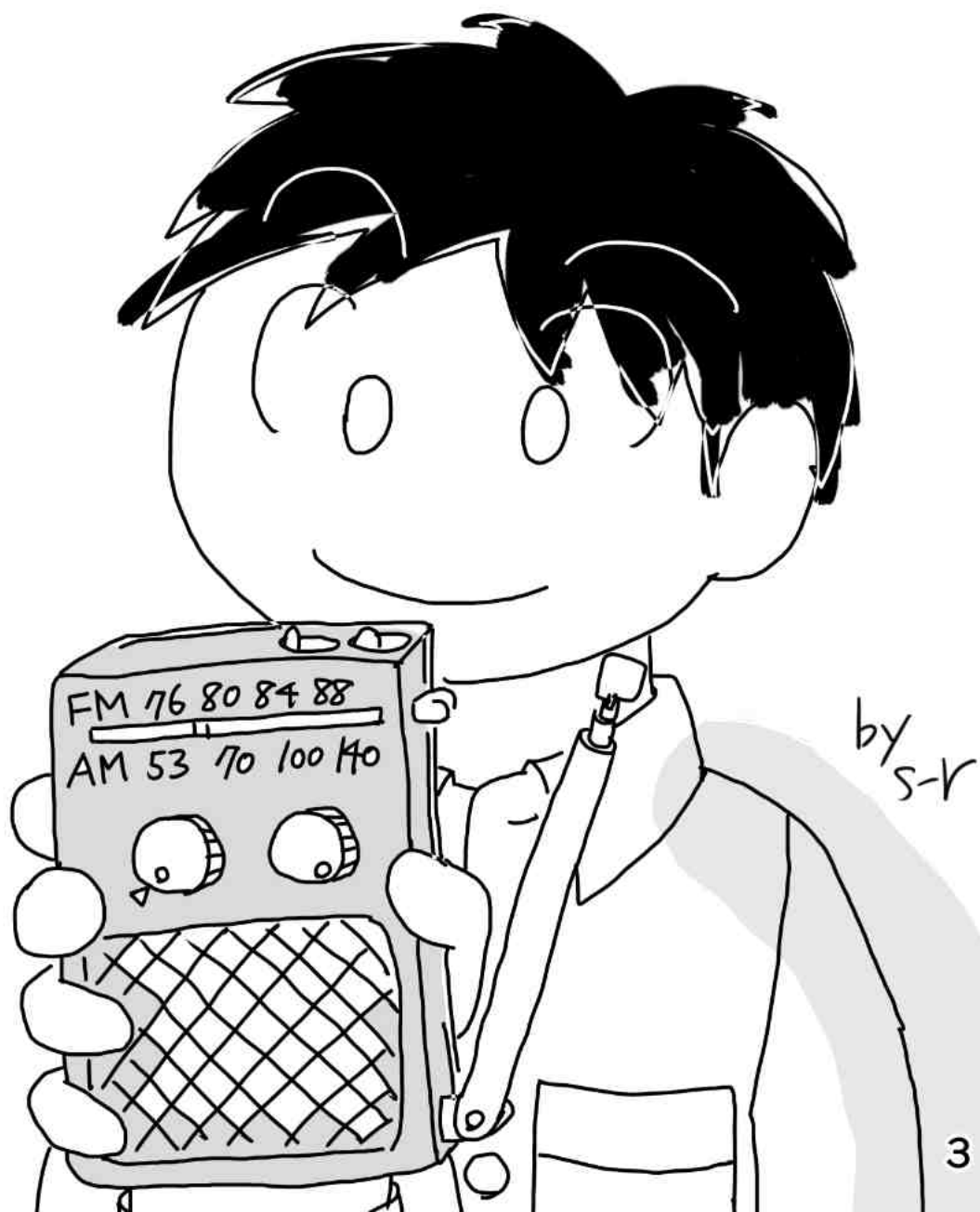


トランジスタ・ラジオ

トランジスタ・ラジオ



今よりも
ちよっと昔の
話なんだけど

はい。

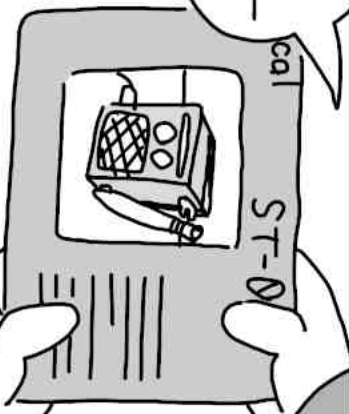


誕生日プレゼント。
ラジオだね。

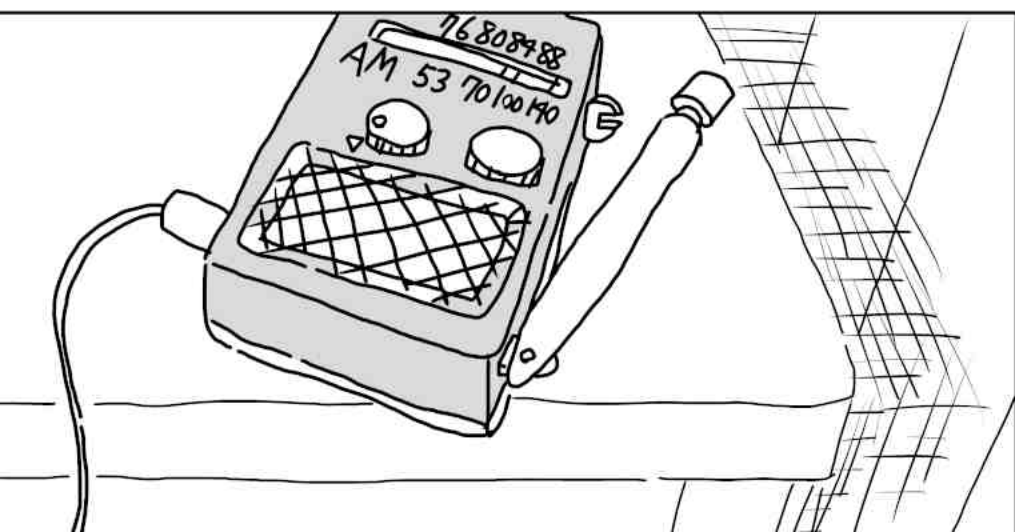
欲しいって
言ってたでしょ、晴人



でも
あれだねー



あ、いいなー





そういう風にして
小5の誕生日に
小型の
トランジスタ
ラジオをもらった。



当時は割と素直
だったんだと思う。
今ひねくれていて
ではないんだけど…

あまりのめり込まない
ように、一日に聴く
時間を決めて、
ほどほどに
聴いていた。



ただそういう
番組を
ちゃんと聴くのは
その頃が
初めてだった。

ラジオ番組と
いうのは、今も昔も
そんなに
変わらないと
思う。

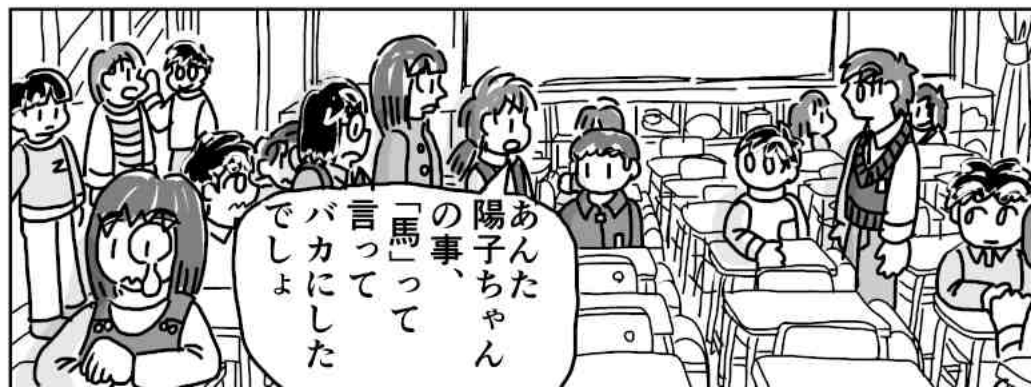
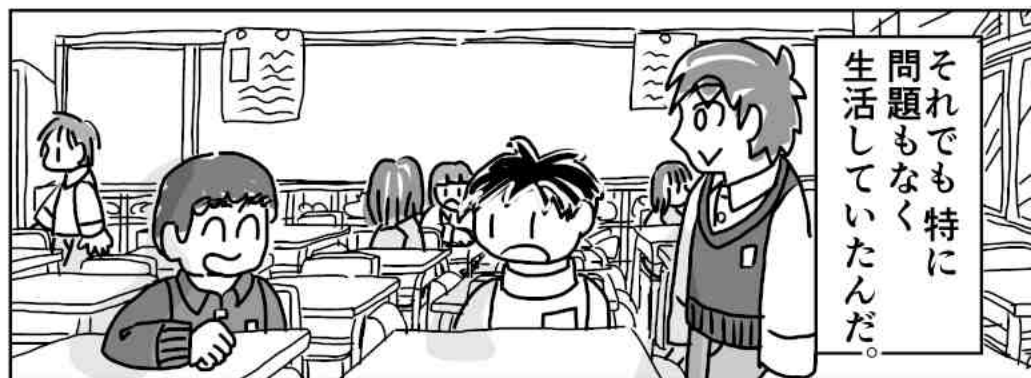


DJの
トークも
非常に
新鮮
だった。

よく耳にする
ヒット曲や
あまり聞いた事
のないめずらしい曲

しかも夜がふけた
頃の放送には
Hなコーナーも
よくあった…













原因はくわしい
しらないん
だけど...

まあ
あいつらの
事だから



でも
昨日は
こぶしで
なぐり合
してた

こぶし
で...

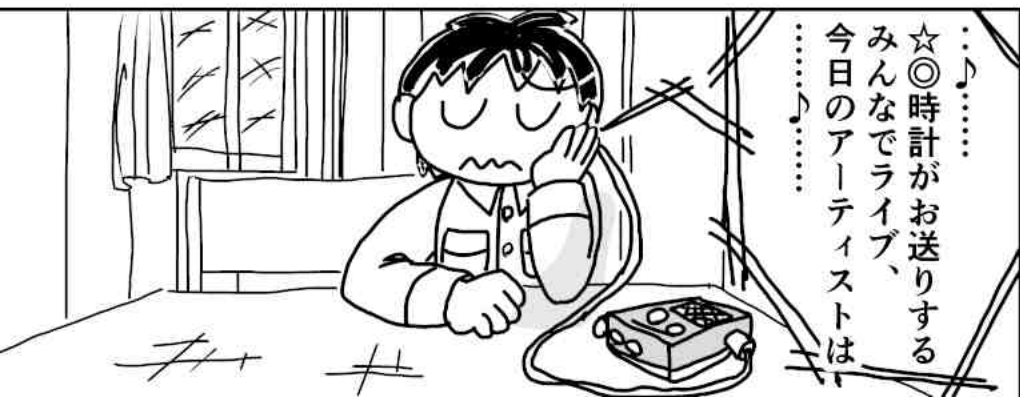
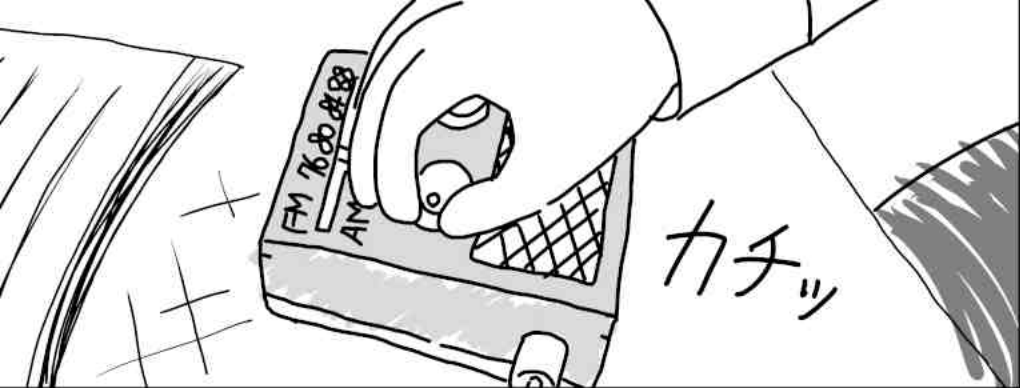


でもこぶしで
なぐり合
ったりし
たら、
それで
友情が
深まっ
たり
するん
じゃあ
ないの
かな
...

まあ、
いずれ
は
そう
なる
だろ
うけ
ど
...

今は
最高
潮に
決裂
して
いる。







あのー
もしかして俺に
話しかけてる？

そうだよ。
君に話しかけて
るんだよ。晴人

どうして？
これラジオじゃ
ないの？
トランシーバーか
何か？

いや、
これはラジオ。
トランジスタ・ラジオの
私が君に
話しかけているんだ。

うーん

意味が
わからない……

どうして？
意識を持って
しゃべる事の出来る
ラジオが手元に
あるって事だよ。

ますます
意味不明だよ
……

そんな事ないって。
まだ子供だから
そう思うんじゃないか？
世界は大きいし、
不思議な事は
いっぱいあるよ。

それも子供を
だましてる感じ。
同じ事が大人に
起こったらもっと
大騒ぎになると
思う。

それはそうかも。
私も晴人だから
思い切って
話しかけて
みたんだ。

そうなの。
要するに君は
このラジオで、
俺に話しかけて
いるんだね。

そういう事だね。

そういう事が
あって……
と言っても、そんな事
誰も信じないか、

あるいは、
誰かに
だまされてるんだと
思うだろうけど……

まだ小学生
だったから
あっさり
受け入れてみた。

中也と謙二の
事をラジオに
相談して
みたんだ。



聞いてはみたよ。
野球している時に
挑発し合ったみたい
だけど……

うーん……



まあ子供のケンカだし、
そんな大事には
ならないだろうな。
大人の悪意が
込められた
ケンカとは違うし……

うん……

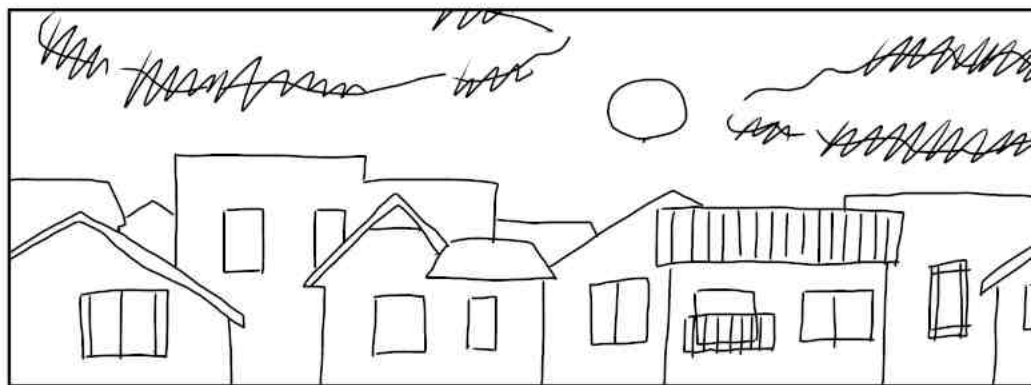
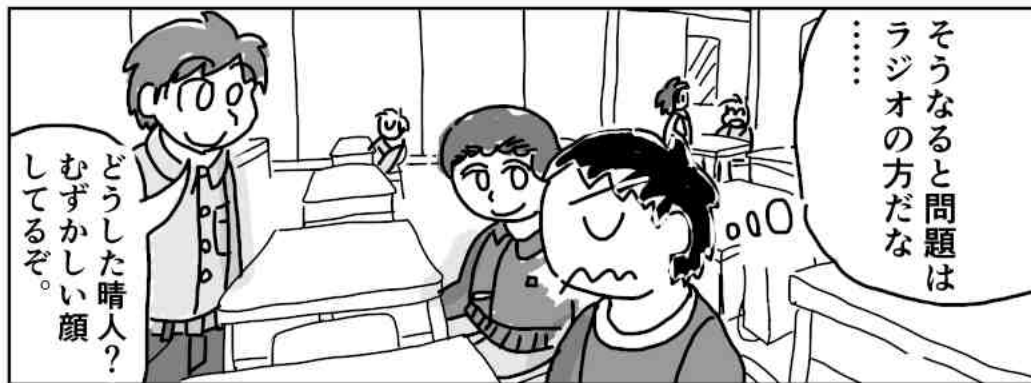
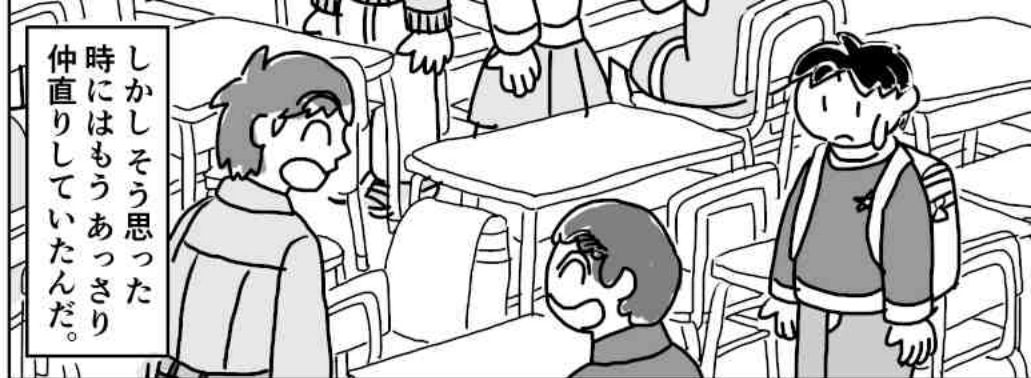


どうしても
何とかしたいなら、
やっぱり話し合いが
一番だね……

そうだね



そうやって
ラジオの忠告通り、
次の日話し合いを
持ちかける事にした。









うん。
また話が
出来ちゃうんだね

そうだね。
私は話す事が
出来る
ラジオだから



昼間は何してるの？
ラジオ
聴いてるの？

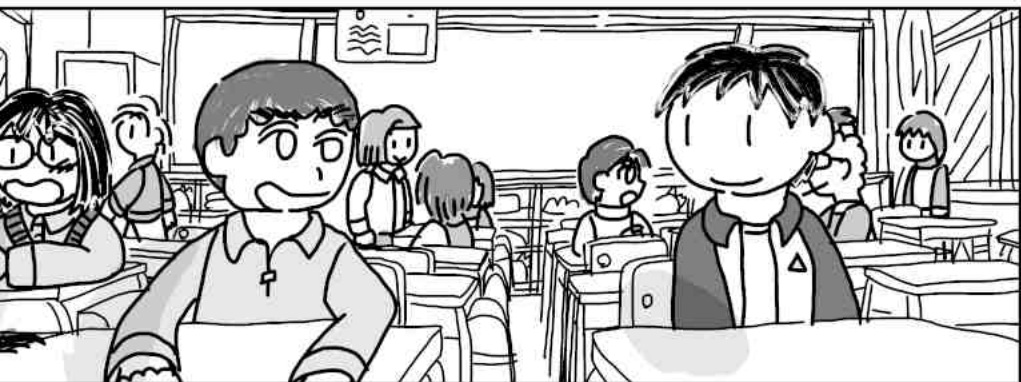
うーん、
暇を持って余している
訳ではないんだけど…



まあ私自身の
事については、
いづれ少しづつ
話すよ。

うん。
じゃあまた
今度聞く。



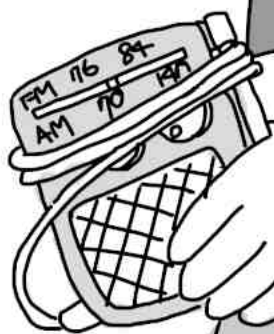


そうだね。
夜ふかしも
するし……

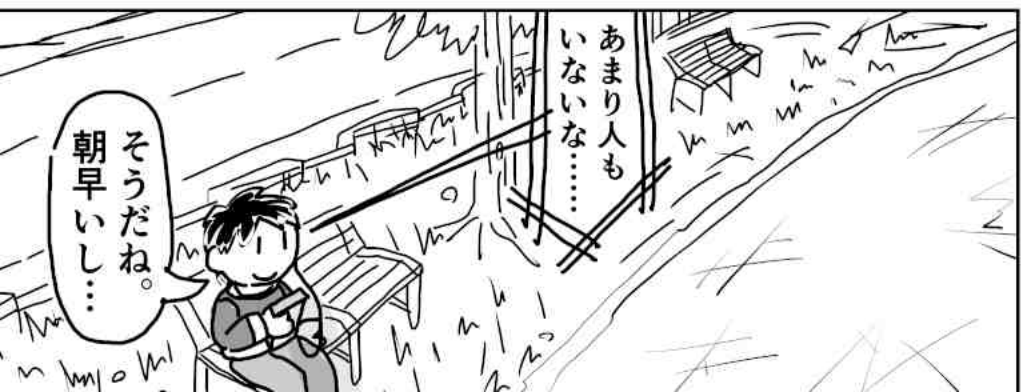
やっばり
言わない方が
いいのかな……

そうそう。
面白いものは
すぐに中毒に
なっちゃうよな。

ある日



ラジオが朝の風を
あびたいと言うので、
早朝にラジオを持って
公園に行った







風を感じたり
風景を
見たりって
出来るの？

あれ……？
C田君じゃ
ない？



んー
私も自分の
体のしくみは
よくわからないん
だけど……

うん



ケースに当たる
光や振動で
感じ取ることが
できている
みたいなんだ

うーん。
腑に落ちるような
落ちないような
……

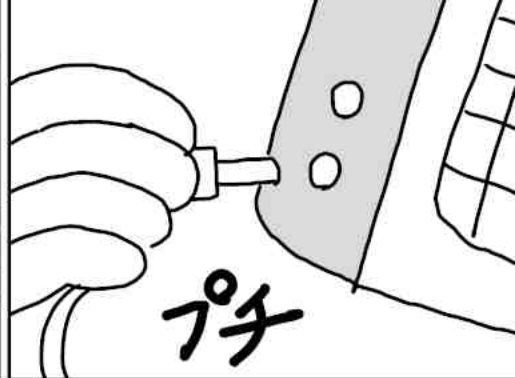


じゃあ
思ったより
普通に
生活してるんだね

そうだね











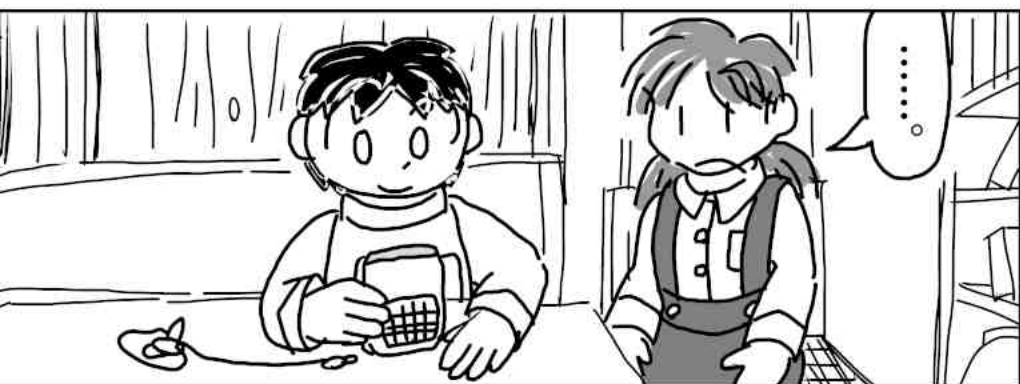
そして
その後の
ある日の夜…













実は君のうちが
電気屋さんだって
聞いて…

うん
…
そうだけど



頼みたい事？

一つ
頼みたい事が
あるんだ。

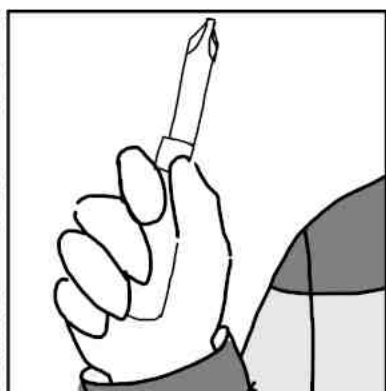


うん。ちょっと
用立てて欲しい物が
あって…











暗人がそれをやる事も
あるんじゃないかとも
思っていたんだが…



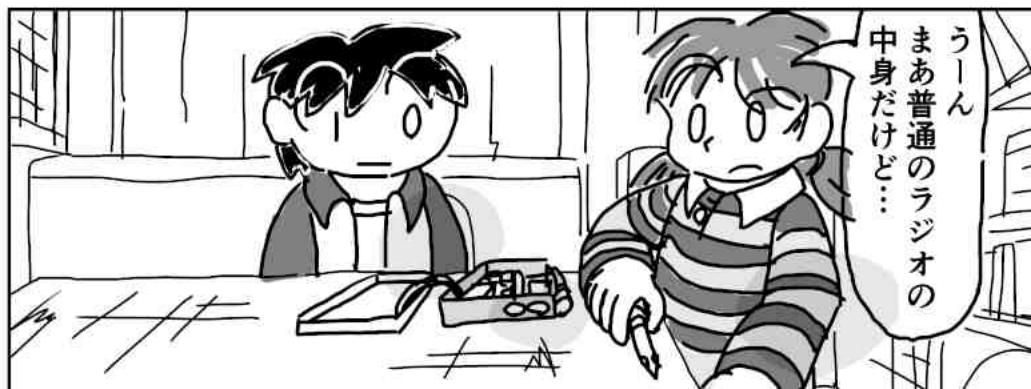
そうなんだ。
それで私の筐体を
開けてみてくれないか



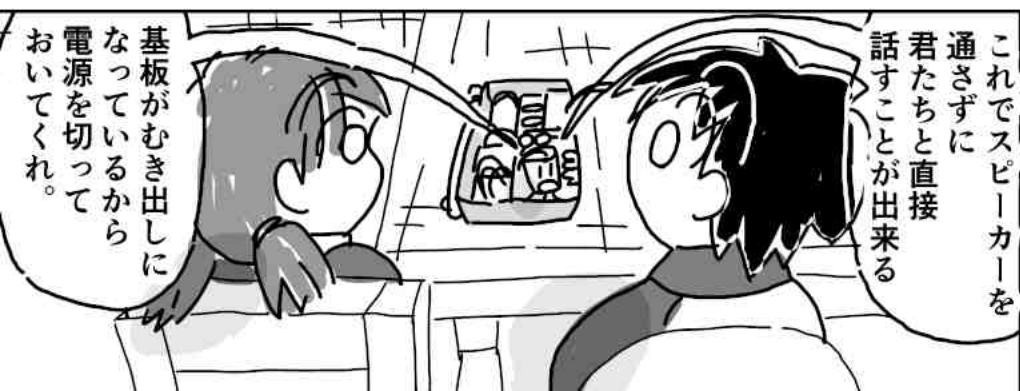
うん、考えたことは
あるんだけど、
実際にはしてみる気にならなくて…

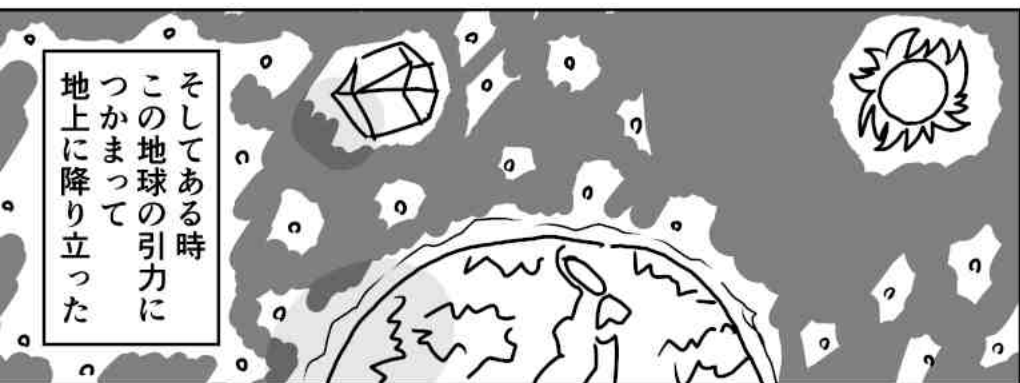
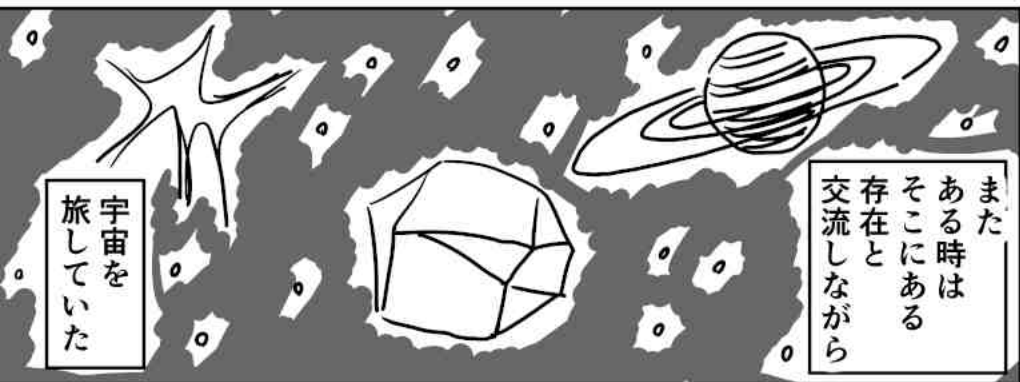


じゃあ
開けてみるよ



うーん
まあ普通のラジオの
中身だけど…





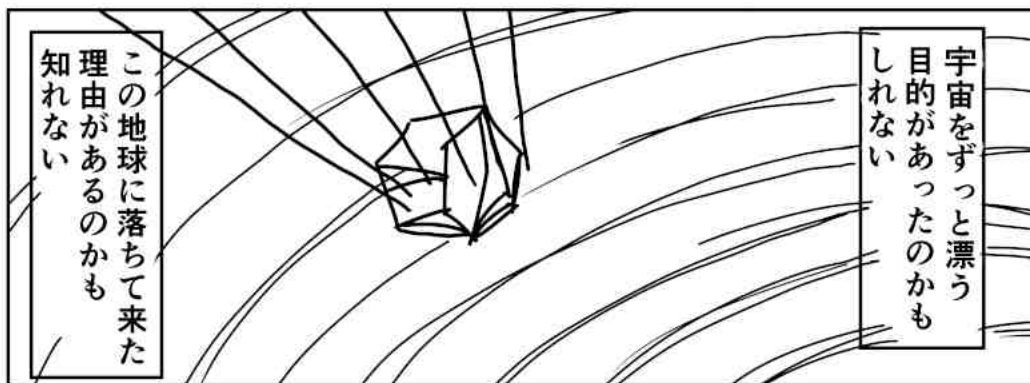


ケイ素…。
トランジスタの
原料だね

私の存在の
本質的な部分は
ケイ素に依存している
らしい



ラジオになって
以来ずっと
考えて
いたんだが、
やはり自分が
何者かを
知りたいんだ



宇宙をずっと漂う
目的があったのかも
しれない

この地球に落ちて来た
理由があるのかも
知れない



だから
このラジオから
離れて
自由に行動して
みたいんだ



そして
……



成程ね
つまり、この
ラジオから
取り外して
欲しいって事ね。



うん、
そういう事なんだ。
私の願いを
理解してくれて
ありがとう



代わりに持ってきた
この型番の
トランジスタを
取り付けてラジオも
元通りに使えるって
事だね



線⁰⁵を切っちゃって
いいんだよね、
ラジオさん

ああ
頼む

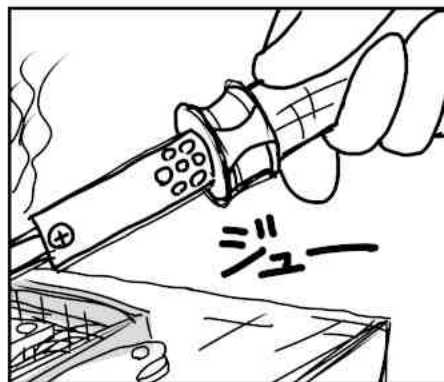


それなら
やるよ



うん……

C田君も
それでいいんだね？







うん。
じゃあ一応の
お別れだね。
僕も楽しかったよ。



だから
お礼をしようと
思う



晴人にも
恵梨ちゃんにも
世話になったし
散財もさせた



持ってるよ



恵梨ちゃん
やすりは
持ってきてるよね

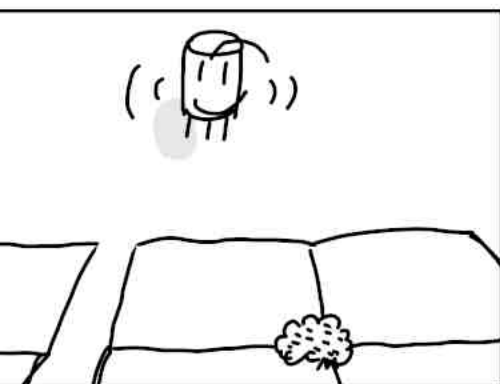
ガサガサ

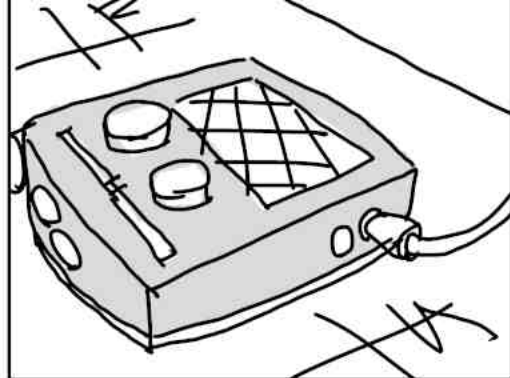


これは宇宙由来の
砂だから
現実的なパワーがある



それで私の体を
削り取ってその砂を
持っていてくれ





こうして
ラジオは
旅立っていった



僕の持っている
ラジオは
極普通の
トランジスタ・
ラジオになった



最初に話した時
ラジオが言った
通りなんだろうな



世界は大きいし、
不思議な事は
いっぱいある

終わり

<https://s-rmanga.o0o0.jp/>



This book by © s-r 2022 is licensed under the Creative Commons Attribution-NonCommercial-NoDerivatives 4.0 International License. To view a copy of this license, visit <http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>.